

危険物施設総合研修訓練

事故防止調査研修センター

世代交代により、危険物施設の火災を経験した消防職員、自衛消防隊員等が減少傾向にあります。

一方、危険物やガス火災の大規模な消火訓練は、さまざまな制約で実施困難な状況にあり、危険物施設火災への対処が各方面で憂慮されています。

そこで当協会では、危険物などの災害に際して最前線で活動される方々を対象に、輻射熱体験と危険物等災害に関する知識の習得を目的とした研修・訓練を、平成25年度から開催しております。

今年度は、消防職員11名、事業所職員6名の合計17名の方が受講されました。二日目は曇り空で時折雨が強まる中での訓練となりましたが、全ての訓練を無事実施することができました。

本研修訓練の内容は、過酷な輻射熱からの安全確保及び危険物等火災の鎮火に至る過程の体験、危険物災害の基礎知識に関する講義、図上訓練による危険物等災害発生時の状況予測能力の向上や安全管理能力の習得等となっており、危険物災害に対処する際の安全かつ適切な消火活動に役立つものと、好評を得ています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として受講定員を制限する等したことに加え、状況予測型図上訓練は従来のグループ討議を個人検討に変更しました。

- 1 実施日: 令和3年10月12日(火)、13日(水)
- 2 実施会場: ① 研修 危険物保安技術協会(東京都港区虎ノ門4-3-13)
② 訓練 海上災害防止センター防災訓練所(横須賀市及び第二海堡)

研修・訓練の状況



図上訓練



ペーパー回収装置消火訓練



タンクローリー火災消火訓練



油貯蔵タンク火災消火訓練

研修訓練の内容

研修訓練の項目と概要		
項目	研修・訓練（第1日目）	消火訓練（第2日目）
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物災害に関する基礎知識 火災と燃焼・危険物の性状 危険物施設火災活動事例 ・大型タンク火災における状況予測型図上訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器訓練 ・基本消火訓練 ・ペーパー回収装置消火訓練 ・角タンク（オープンタンク）泡消火訓練 ・タンクローリー火災消火訓練 ・油貯蔵タンク火災消火訓練

受講された方々の声

- 危険物災害（火災）の実経験がないので、その対応に関する講義・演習は有意義であった。
- 徹底した安全管理の下で、充実した講義・訓練を受講することができた。この体験を職場へフィードバックさせていただきます。

※グループ討議の再開に対するご要望につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえた上で、実施方法等を検討していきたいと考えております。

※次年度は受講料の改定 [106,590 円 (税込み)] を予定しております。また、実施時期等については、令和4年8月頃にホームページでご案内する予定です。